



# 三稜会会報

津島高校同窓会



令和5年7月14日 第72号

発行 三稜会  
(津島高校同窓会)  
事務局(津島高校内)  
〒496-0853  
津島市宮川町3-80  
電話 0567-28-4158  
発行人 北角 浩一

## 中高一貫教育に向けて

三稜会会長 北角 浩一



去る五月に、新型コロナウイルスが二類相当から五類相当に引き下げられました。いろいろなところで、コロナ以前の活動が再開されています。非常に喜ばしい状況になってきました。しかし、これで全て元に戻るかというとそうではないように思います。二〇一九年の時に感じていた空気と今はまるで違っていると感じているのは私だけでしょうか。未来志向なのか、そうでないのかはこれからの私たちの行動に大きくかかっていると言えるでしょう。

三稜会においては、創立一二〇周年事業の進捗に対して大きな影響を及ぼしましたが、そういった新型コロナウイルスの状況の中、各記念事業を実現することができました。幹事学年の皆様、卒業五〇年を迎える皆様方、そして多くの同窓生の方々のご協力の賜物と感謝申し上げます。

来る二〇二三年九月十六日(土)に行われる三稜会総会および懇親会は、新型コロナウイルス以前の状態に戻って、再会を楽しめる場になることを期待している次第です。

さて、コロナ禍の最中も少子化がどんどん進んでおります。既に学校の運営に対して非常に厳しい環境になっていきます。近隣においても定数割れの公立高校が非常に多くなってきました。幸いにして我等が母校である津島高等学校はそういった状況にはなっておりませんが、今の状態であれば厳しい状況になることは間違いありません。そういった環境の中、津島高等学校が中高一貫教育を二〇二五年より開始することが決定したことは、非常に喜ばしいことです。

同窓会としても津島高校の中高一貫教育の成功に向けて、積極的にサポートしていきたいと考えております。

中高一貫教育の中で、国際バカロレア教育を実現するといふ方向性を服部前校長が打ち出されました。同窓会としても、創立一二〇周年記念事業の一環として現役生徒のための国際交流のための予算を二〇二〇年から組んでおりました。残念ながら新型コロナウイルス対策により「ホームステイ」が「ステイホーム」になってしまったため予算は使われてきませんでした。しかし、今年度から有効に予算が執行される見込みになってきたことはうれしい限りです。

それ以外にも同窓会として支援できることは多くあると考えております。同窓生の皆様にも、是非とも同窓会や高校に対して有意義な提案やご意見などいただけましたら幸いです。最後になりますが、皆様方の健やかな生活を祈念いたします。

「旧講堂と本館」



### ホームカミングデイのお知らせ

毎年母校津島高校の三稜祭(学校祭)中に催しております。今年は9月8日(金)9:00~14:00に予定しております。

ただし、新型コロナウイルス感染状況によっては中止することもあります。予めご了承ください。

(中止する際は三稜会ホームページ上でお知らせ致します。)

この四月に校長として着任した川手文男と申します。三稜会の皆様には、日頃から本校の教育活動にひとかたならぬご理解とご支援を賜り心から御礼申し上げます。

創立百二十年の歴史を誇る愛知県屈指の伝統校に勤務できることを心から喜ぶとともに、多くの皆様から本校へ寄せられる期待に相応な責任を感じているところです。新入生のワクワク感、ドキドキ感と同じなんでしょう。私の津島高校生活は「心地よい緊張感」から始まりました。

さて、ご存じのとおり、本校は愛知県における中高一貫教育実施の第一期校に指定され、現在、令和七年度の併設中学校開設に向けた準備が急ピッチで進行中です。

新しい学校づくりのキーワードは「温故知新」です。月並みですが、本校ならではの言葉でもありますが、旧制第三中学校の息吹を今に伝える旧講堂、国の登録有形文化財である正門門柱など、歴史の重みを感じさせる教育環境が整っていることはもちろん、多くの同窓生の皆さんが各界で活躍しておられることは本校の誇りです。現役の生徒たちにとって、自らの将来像を現実的に投影できる優れた先輩の存在は何物にも代えがたい財産です。

先日は津島高等学校出身の国際画家、横井照子さんの特別展が開催されました。これから改革を進め、グローバルな視点を有する開拓者を育成していくこうとする本校としては、すでに国際舞台での実績をもつ先輩の存在は大変心強いことです。また、芸術的な感性や教養は生徒の豊かな心を育み、寛容で、多様性のある社会の形成者として成長していくために重要なファクターとなります。

これまで本校に蓄積されてきた教育資産を基



## 津島高校に 着任して

お 男  
お 文  
て 手  
か 川  
校 長

盤としながら、将来に向けた教育活動にも取り組んでいきたいと考えています。

本県の中高一貫教育の目的は「探究活動の充実」にあります。今日の社会は、変化が激しく、先が見通しにくいと言われていますが、このよ

うな時代の変化を前向きに受けとめ、たくましく、そして、しなやかに未来を創造できる若者を育てていきたいと考えています。

そのために求められているのは、課題に対して積極的に向かおうとする心構え、課題の解決方法を探る幅広く奥深い考察力、周囲の人や組織と連携していく協調性とそのための調整力などです。中でも重要なのは、「課題解決に向けて実行する力」と「課題そのものを発見する力」です。こうした探究能力を育成していくため、国際バカロレアの理念を意識していることが本校の特色となっております。

中高一貫教育とそれに伴う学校の改編は容易なことではありません。しかし、夢のある取り組みです。これらの新しい学校づくりに関わる取り組みについては併設中学校開校を待つことなく、準備ができたことから在校生にも還元していきたいと考えています。

また、地域の中核校として、県立学校だけでなく、小中学校ともこれまで以上に連携を深め、相互に教育力を高めあうような関係を構築していきたいと考えています。

私たちが目指すものは、国の先端を行く教育であり、明るい未来を創造し、国際舞台で活躍できる人材の育成です。本校の生徒たちが、自分自身の幸せな生活をつかみつつ、併せて他人々の幸せのためにも貢献する：そんな未来を思い描いています。

今後とも本校の教育活動への格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

9月16日 開催

## 令和5年度 総 会



今年度幹事学年  
桑原大輔 代表

今年度幹事学年を務めさせていただきます。高校46回生代表の桑原 大輔（くわはら たいすけ）と申します。

26回生の皆様、母校卒業50周年をお迎えになりますこと、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本年9月16日（土）津島市文化会館におきまして、三稜会総会及び懇親会（祝賀会）の開催を予定しております。

世の中の状況も配慮しつつ、有意義な時間を過ごしていただけるよう準備を進めてまいります。多くの卒業生の皆様にご参加いただけますことをお願い申し上げます。

私たちが46回生は卒業後30年と月日の経過の速さに驚きつつ、昨年末より同級生の協力を募り、幹事学年の活動を始動いたしました。

伝統ある津島高校同窓会「三稜会」、長きにわたり諸先輩方が脈々と引き継いでこられた幹事学年の重責に今だ押し潰されそうなお想いはありますが、30年前にタイムスリップし、皆で大きな目標を成し遂げるための貴重な機会をいただいた

### 総会に向けて

この時間を仲間と楽しめるよう、準備を進めてまいります。現状ではまだまだ準備不足は否めませんが、当日まで46回生のお祝いの日を盛り上げていきます。どうか暖かく、見守っていただけると幸いです。今もなお終息とはなりません。この三年間、国内において新型コロナウイルス感染症拡大、感染防止に伴い、我々の生活は激変の渦中にあります。

コロナ感染症罹患により今なお後遺症に苦勞されている方も少なくないと聞いております。一日でも早い収束、安心して過ごせる日常への再生をお祈り申し上げます。どうか、皆様におかれましても、御身体にはご自愛頂きお過ごしください。最後に申し上げますが、母校の益々の発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたしまして、幹事学年代表のあいさつと替えさせていただきます。

高校46回生代表幹事  
桑原 大輔

### 令和5年度 三稜会 (愛知県立津島高等学校同窓会)

開催日 令和5年9月16日(土)  
会 場 津島市文化会館  
(津島市藤浪町3丁目89番地10)  
TEL 0567-24-1122

会 費 10,000円

＜三稜会総会＞

会 場 小ホール

会 時 10時30分より

\* 9時30分より受付開始

＜合同懇親会＞

会 場 大ホール

会 時 12時00分より14時00分

\* 懇親会から出席の方は  
11時30分より受付開始



令和5年7月吉日

## 令和5年度三稜会（愛知県立津島高等学校同窓会）開催のご案内

謹啓 盛夏の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、伝統ある母校の同窓会において、今年度の担当幹事学年は、46回生（平成6年3月卒）です。この度も、楽しい懇親の場となるよう準備を進めておりますので、皆様お誘い合わせのうえ、是非ご来臨くださいますようご案内申し上げます。 謹白

### ○懇親会 卒業50年のお祝いについて

例年 卒業50年をお迎えになる先輩の皆様のお祝いを致しております。

今年度めでたく卒業50年を迎えられます皆様（全日制第26回卒業生・定時制第23回卒業生）にささやかではございますがお祝いの場を設けたく存じます。

何かとご不便をお掛けすることもあるかと存じますが、皆様お誘い合わせの上、是非ご来臨くださいますようご案内申し上げます。 謹白

### ○総会・懇親会開催について

謹啓 この度は大変お世話になります。特に役員、各学年幹事の皆様には大変お世話になります。つきましては、本会へのご参加を同級生の方々にお声掛けいただき、多数ご臨席賜りますようお願い申し上げます。

ご多用の折とは存じますが、ご来臨賜りますようご案内申し上げます。なお、詳細につきましては会報P2をご覧ください。 謹白

### ○卒業30周年のお祝いについて

拝啓 卒業30周年を迎える第46回生は、この度幹事学年を担当することになりました。

つきましては、ご出欠の最終確認をさせていただきたいと存じます。以前欠席の返信をされた方も、ご予約の変更などありましたら、この機会にお申し込みをいただくと嬉しく思います。

現在、実行委員会では滞りなく会が進むよう準備をしておりますが、当日会場にて突然お手伝いをお願いすることがあるかもしれませんので、その時はご協力の程よろしくお願いいたします。

学年会では我々の卒業30年を祝い、大いに盛り上がりましょう！恩師の先生方にもお声掛けしております。思い出深い一日となりますよう、皆様のご参加を心よりお待ちしております。 敬具

（お問い合わせ先）

令和5年度津島高等学校同窓会実行委員会  
幹事学年：46回生 実行委員長 桑原 大輔  
津島高校同窓会事務局 TEL 0567-28-4158（代表）

# 卒業50年お祝いの会のご案内

26回生代表幹事 伊藤信道 haru22ban@y8.dion.ne.jp

本年は、津島高校を卒業して50年目になります。三稜会（同窓会）からは、お祝いをしていただくという行事があります。三稜会案内と併せて、この案内をご覧の上、お申し込み下さい。皆様と再会できることを、楽しみにしています。

## 企画内容について

2023年9月16日（土）に開催します。2部仕立てになっています。

1：総会・懇親会（三稜会主催）は、津島市文化会館にて開催されます。

これに出席しますと、卒業50年記念品（木杯）がいただけます。

詳細は、別紙案内をご覧ください。

会費1万円は、三稜会の方に、同封振込用紙で送金下さい。

2：26回生主催の同級会の会場は、Johnnie's Brasserie（ジョニーズ  
ブラッセリー・中村区名駅1丁目 JRゲートタワー13階）です。

17:00～19:00 【開場16:30】

同級会のみ参加の場合は、会費5,000円を当日納入下さい。

3：申込み方法 参加希望コース（A・B・Cのいずれか）をご記入の上、  
ハガキで、8月8日までに投函下さい

# A

懇親会のみ参加  
津島市文化会館

⇒

会費1万円を  
三稜会に振込

出席者には  
記念品あり

# B

懇親会 津島市文化会館  
同級会 JRゲートタワー17:00～  
両方とも参加

⇒

会費1万円を  
三稜会に振込

出席者には  
記念品あり

# C

同級会のみ参加  
JRゲートタワー 17:00～

⇒

会費5千円を  
当日納入

三稜会からの  
記念品なし



# 総会を終えて

高校45回生代表  
前田 浩志



私たち四十五回生が幹事学年として昨年度の「三稜会総会・懇親会」を無事に終えることができました。これもひとえに三稜会役員の皆様をはじめ、諸先輩方のご指導とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

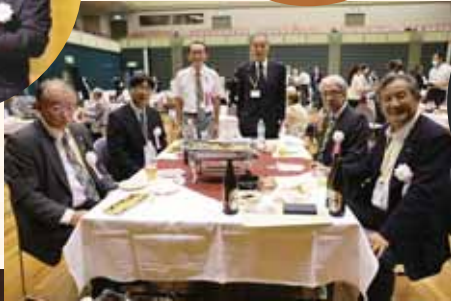
昨年度は、三年ぶりに懇親会も開催し、多くの方にご参加いただきました。私ども四十五回生も始めは分からないことも多く、困難なスタートでしたが、「総会・懇親会を成功させたい」という思いから多くの同級生が参加し一致団結して取り組めたことにより、大きな達成感を味わうことが出来ました。三十年経っても変わらない、津島高校の力強さを感じられました。

また、今回をきっかけに再会した同級生や関係を深めた同級生も多く、貴重な機会をいただけたことに感謝しております。

最後になりますが、母校と三稜会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し御礼の挨拶とさせていただきます。

愛知県立津島高等学校  
三稜会総会

令和四年九月十七日(土)  
於 津島市文化会館



令和5年度 三稜会事業計画(案)

- 校内事務局打ち合わせ 令和5年4月
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和5年5月27日(土)
  - 事業報告 (2) 事業計画
  - 会計(三稜会・三稜育英会)報告 同監査報告
  - 予算案 (5) 役員改選
  - 総会に関すること(幹事学年46回生)
  - 令和4年度稲葉真弓賞(第13回三稜会懸賞論文)表彰
  - その他
- 三稜会会報(第72号ならびに別冊)の発刊 令和5年7月予定
- ホームカミングデイ  
津島高校三稜祭(文化祭初日) 令和5年9月8日(金)の予定  
注:一昨年から土曜日は地元中学生に開放するため、同窓会は金曜日に設定。昨年はコロナで中止。
- 令和5年度総会・懇親会(幹事学年:高校全日制46回生)
  - 総会 令和5年9月16日(土)(会場:津島市文化会館)
    - 受付9時30分より 開始10時30分
    - 1)役員改選 注:今年は土曜日に実施
    - 2)津島高等学校勤続十年表彰あおい  
(佐野美由貴先生、大江亜生先生)
    - 3)令和4年度事業報告・令和5年度事業計画の報告
    - 4)令和4年度決算報告・令和5年度予算の報告
  - 懇親会:総会当日午後 ●受付11時30分より 開始12時00分  
(会場:津島市文化会館)
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和6年2月予定(期日未定)
- 三稜会入会式(全日制第76回生) 令和6年2月29日(木)  
卒業証書授与式 3月1日(金)  
(全日制第76回生・定時制第73回生)

令和5年度 三稜育英会事業計画(案)

- 理事会・評議員会 令和5年5月27日(土)午後 於:応接室  
(1) 事業報告 (2) 事業計画 (3) 会計報告 同監査報告  
(4) 予算案 (5) 役員改選
- 令和4年度稲葉真弓賞(第13回三稜会懸賞論文)選考会  
令和5年5月6日(土)
- 令和4年度稲葉真弓賞(第13回三稜会懸賞論文)表彰式  
令和5年5月27日(土)
- 令和5年度稲葉真弓賞(第14回三稜会懸賞論文)募集  
令和5年10月要項配布予定  
(例年、題は幹事学年が決めます)

令和4年度 三稜会事業報告

- 校内事務局打ち合わせ 令和4年4月
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和4年5月28日(土)
  - 事業報告 (2) 事業計画
  - 会計(三稜会・三稜育英会)報告  
同監査報告(監査 山岸監事)
  - 予算案 (5) 役員改選
  - 令和4年度総会と懇親会の日程について(幹事学年45回生)
  - 稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)の選考結果について  
(審査委員会)
  - 三稜賞表彰について
  - その他(創立120周年記念事業について)
- 三稜会会報(第71号ならびに別冊)の発刊  
令和4年7月16日発刊
- ホームカミングデイ  
三稜祭(文化祭)当初9月9日(金)を予定しておりましたが  
コロナのため中止
- 令和4年度総会(幹事学年:高校全日制45回生)
  - 総会:令和4年9月17日(日) 会場:津島高校体育館  
受付 9時30分~ 開式 10時
  - 1)役員改選
  - 2)津島高等学校勤続十年表彰(●難波教諭)
  - 3)令和3年度事業報告・令和4年度事業計画の報告
  - 4)令和3年度決算報告・令和4年度予算の報告
  - 5)卒50年会員表彰(高25回)
  - 懇親会:総会当日午後 受付 11時30分~ 開式 12時30分
  - 臨時役員打合せ 令和4年11月26日(土)応接室  
来年度の総会について 卒50記念品について
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和5年2月11日(土)
- 三稜会入会式(全日制第75回生) 令和5年3月2日(木)  
11:45~ 於:津島高校三稜館  
卒業証書授与式 3月3日(金)  
(全日制第75回生・定時制第72回生)

令和4年度 三稜育英会事業報告

- 理事会・評議員会 令和4年5月28日(土) 於:応接室  
(1) 事業報告 (2) 事業計画 (3) 会計報告 同監査報告  
(4) 予算案
- 令和3年度稲葉真弓賞(第12回三稜会懸賞論文)選考会  
令和4年5月7日(土) 於:応接室
- 令和3年度稲葉真弓賞(第12回三稜会懸賞論文)表彰式  
令和4年5月28日(土) 幹事会にて
- 第2回審査員打合せ 令和4年7月30日(土)於:応接室  
審査組織、来年度募集要項について
- 令和4年度稲葉真弓賞(第13回三稜会懸賞論文)募集  
10月要項・ポスター配布 題「平和な日常」  
募集期間 令和4年11月1日~令和5年1月31日

令和4年度 三稜会(一般会計)収支決算書

自令和4年4月1日  
至令和5年3月31日

収入総額 3,174,250 円  
支出総額 5,995,850 円  
差引残額 Δ2,821,600 円 翌年度への繰越額

収入の部

科 目	予算額	収入済額	増 減	摘 要	令和5年度予算額
入 会 金 収 入	1,875,000	1,855,000	Δ 20,000		1,875,000
繰 越 金 よ り	0	0	0		0
そ の 他 の 収 入	100	1,319,250	1,319,150	北角会長、利息、周年口座より	100
合 計	1,875,100	3,174,250	1,299,150		1,875,100

支出の部

科 目	予算額	支出済額	残 額	摘 要	令和4年度予算額
会 報 費	1,300,000	1,716,815	Δ 416,815	会報・別冊印刷代	1,300,000
慶 弔 費	50,000	0	50,000	故長谷川副会長	50,000
生 徒 記 念 品 費	180,000	213,262	Δ 33,262	卒業証書入れ代金	180,000
会 議 費	60,000	25,827	34,173	茶菓代等	60,000
事 務 費	170,000	134,836	35,164	郵送費等	170,000
そ の 他 の 支 出	115,100	3,905,110	Δ 3,790,010	木杯代(2/3)	115,100
合 計	1,875,100	5,995,850	Δ 4,120,750		1,875,100

注:来年度卒業予定者数375

当年度収支差額	0	Δ 2,821,600			0
前年度繰越総額	4,457,079	4,457,079		前年度貸借対照表より	0
繰越金	Δ 2,821,600	Δ 2,821,600			0
次年度繰越総額	1,635,479	1,635,479			0

備考:各科目間の流用を認める。

(円)

三稜会(一般会計)  
貸借対照表

令和5年3月31日現在

科 目	金 額
I. 資産の部	
普通預金 普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	1,635,479
貯 蔵 品 卒業50年記念品「木杯」(1500個)	5,550,000

※卒業50年の記念品「木杯」は、育英会の令和4年度会計で購入した。





# 恩師のたより

## 思い出

一組担任  
吉川 秀司 先生



四十六回生の皆さんこんにちは。私は津島高校に定時制も含め十五年間お世話

になりました。当時の生徒の皆様や旧職員の方々に本当に感謝の気持ちで一杯です。

思い出すのは、自由でのびのびとした元気な四十六回生の楽しそうな姿です。特に春の入学式・始業式の頃は最高でした。桜が満開となり、その下でクラス写真を撮りました。それは新学期を始めるのに相応しい環境でした。三十年前の頃は四月に入ってから桜が満開になっていたと思います。また、三年の夏休みは梅雨明け宣言が出なかったと記憶しています。調べるとこの七十年間で一度だけです。そんな中、部活や学校行事の準備に一生懸命取り組まれていたこと覚えていますが、でもこれは例外で、その頃は明瞭に穏やかに四季が移り変わりました。樹木が多く広い校庭の風景が懐かしく思い出されます。

定年退職して十三年、年相応に心身の衰えを感じています。ほぼ毎日外に出て、農作業などで体を動かしています。お陰さまで大きな病氣も無く過ごしていますが、これからはそんな訳にもいきませ

ん。最近あまり先のことは考えないようになりました。毎日同じ繰り返し出来ることに感謝して生きています。

## 近況

二組担任  
伊藤 茂文 先生



四十六回生の皆さん、お元気でお過ごしのことと思います。定年退職をして十年、昨年古希（七十歳）を迎えました。

三十から四十代にかけて十四年定年前の三年、津島高校には十七年間お世話になりました。思い出がいっぱいの学校です。皆さんも仲間と過ごした濃密な三年間、あとからあとと思いが湧いてくると思います。

ご縁をいただいで、定年退職後も津島高校ソフトテニス部の外部コーチを続けています。昨年は何と三十年ぶりにダブルス・ペア（女子）が愛知県でベスト8に入り、インター・ハイに出場しました。決まった瞬間、県大会の会場で叫び声と涙が出ました。

このごろは家にいる時間が長くなり、家周りの草取りに追われています。雨の日や夕食後は、老化防止？の受験文法問題集を開くのですが、すぐに睡魔に襲われます。コロナ禍で海外はおろか国内の旅行もままならない事態が続きましたが、そろそろ機会をとらえてどこか外国へ行きたい、と思うこ

のごろです。卒業生の皆さんには、健康に十分気をつけながら、毎日を充実させていたただきたいと願っています。

## 近況報告

三組担任  
山田 一男 先生



会報の原稿依頼に同封された昨年の会報を拝見し、同僚として勤務させていただいた先生方の元氣そうな様子を拝読し、三十年前の津島高校での生活を懐かしく思います。私はというと、昨年度宮田先生が務められた町内会長のような役を引受け、変化に富んだ一年でした。事務的な作業については苦にはなりませんでしたが、排水路のフエンスの設置、側溝の蓋の設置、日光川の河川内の樹木の伐採など市役所などへの書類の提出、説明に何度も足を運びいろいろな立場の方々にお世話になり、人との繋がりの大切さを痛感しました。町内会に関わる前は、地域のことなど気にもしませんでしたが、生活環境を維持するだけでも、いろいろな場面で様々な職種の方々に関わり努力してみえることを痛感しました。

この一年は行政の一端を担い新しい発見の毎日でしたが、あと二年は病とうまく付き合うながら町内会に関わっていかうと思っています。コロナ

も終焉に近づき新たな生活が始まります。みなさんもそれぞれの立場で頑張ってください。

## いま、思うこと

四組担任  
小嶋みゆき 先生

四十六回生のみなさん、お久しぶりです。お元気ですか。私は現在、名古屋西高校で週に三日、非常勤講師として教壇に立っています。

教員生活二十一年の年に、一身上の都合で早期退職をしましたが、その後も常勤や非常勤という形で教員という仕事を続けています。

四十六回生は、私が初めてクラス担任を務めた学年です。経験を重ねてきた今ならば、怒らせたり泣かせたり傷つけたりせずに、もっとスマートに伝えられたあれやこれやのことを思い返すと、慚愧の念に堪えません。けれど、不器用なぶつかって得た数多くのものを、今関わっている生徒たちに還元していくことができれば、それが46回生の皆さんへの恩返しになるのではないかと、思うのです。この思いを胸に、可能な限り教壇に立ち続けていきたいと思っています。

46回生のみなさんが、私の大切な生徒であってくれたことに、心から感謝しています。ありがとうございます。どうかお元気で。

## 思い出

五組担任  
石川 鑛一 先生



46回生の皆さん卒業三〇周年おめでとうございます。特に今年は幹事学年として今年も

しての活動もご苦労様です。私自身、昨年はコロナ禍のなかでの卒業五〇年の年でした。教員としては津島高校に十二年間勤務しました。そして現在も同窓会の理事として活動に関わっています。

皆さんと過ごした当時を思い出すと、グラウンドや教室学校行事などで明るく素直で伸び伸びとした津島高校を思い出します。楽しく大切な思い出をたくさんいただきありがとうございます。定年退職をして八年、「鏡に映る我が顔」は前から見ると髪の色も「有」るのですが、後ろに回ると「無」いことに年をとったと感じさせられます。それでも非常勤講師として高校生、児童クラブの支援員として小学生、中学校の評議会委員として中学生と接する日常に自身年をとったなということを感じるような毎日です。

一方、コロナ禍は社会生活や学校生活に大きな影響を与えました。ロシアのウクライナ侵攻は益々混乱を深め世界情勢や世界経済にも大きな影響を与えています。このような大変な時代を社会の中心として生きる皆さん、どうぞ健康で一層の活躍をされるよう祈ります。



# 一期一会

六組担任  
立松 容子 先生



四十六回生の皆様、お久しぶりです。私は、初任で津島高校に赴任し、十五年勤務しました。たいした社会経験もない私を、諸先輩の先生方が温かく導いてくださり心優しい生徒の皆さんに囲まれた幸せな日々でした。私は、この三月に定年退職を迎えましたが、津島高校での出会いがこれまでの教員生活を支えてくれたと感じています。

特に、津島高校で担当した「教育相談」は、私のライフワークとなりました。相談室で大切な話をしてくださった生徒の皆さんや、チームで取り組むことの重要性を教えてくださった諸先生方のお顔を懐かしく思い出します。

そうした津島高校での一期一会にたくさん力をいただきましたが、あの頃の私は、今以上に未熟で、反省しきりです（校内の松の木に、車をぶつけたこともありました）。

退職後は教職を離れ、臨床心理士として第二の人生をスタートします。新しい世界の扉を開けるのは不安ですが、新任教員として津島高校の校門に立った時のように、また素敵な一期一会が待っていると感じて、一步を踏み出します。

四十六回生の皆様も、どうぞあなたの内なる津島高校の力を信じて豊かな人生をお過ごしください。皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## シニアの青年部

七組担任

串田三九二 先生



定年退職して十一年、最初に担任した卒業生も還暦を迎えたそう、シニアの仲間入りです。

私の一日は小学校の通学団の見守隊が始まります。冬は黄色のチョッキの下はスキーウェアで、役目が終わったらそのまま山に直行。夏は旗をポールに持ち替えウオーキング、他にバドミントン、卓球のサークル、アウリントンのリーグ戦と健康的に過ごせております。デイック・エイセスの『おさななじみ』をご存じでしょうか。

『小学校の運動会  
君は一等 僕はびり  
泣きたい気持ちでゴール・イン  
そのまま家まで 駆けたっけ』  
この歌詞がずっと頭の中を巡っている運動音痴でした。

その私が教員になり、部活動の顧問になったことで変化がありました。ワンゲル部、バレー部、卓球部、バンド部等どれも経験の浅い苦手な運動部顧問です。でも練習と一緒にしたり、大会を経験することでスポーツの楽しさを知ったように思います。ワンゲルでは、高山植物を知り、また剣道の顧問から『残心』の意味を学び、弓道

の達人からは『当てようとする弓は汚い』と無心の大切さを説かれました。これらの経験も併せ生涯スポーツを楽しむ今の生活に繋がっていると感じています。

現在は医療系専門学校の講師、高校の非常勤と新しい出会いがあるのもう少し青年部を楽しみます。

## 過去と現在

八組担任

平野 清 先生

御卒業三十年おめでとうございませう。時の流れの早さに驚くと共に、自らの老いを感じる此頃です。申し訳ないことに、当時のことは殆ど覚えていません。それでも卒業アルバムやスキースタンプ大会の写真を見ると、懐かしくも恥ずかしい思い出が甦ってきます。定年後の二〇一〇年、再任用教員配置で再び津島高校に戻ることができましたが、お陰様で本場に充実した二年間でした。

現在私は「七十四歳無職九年目無病無事」です。午前中は家の片付け、午後はスーパーへの買物や団地内散歩、夜は専らテレビと、極めて非生産的な毎日ですが、できれば白寿までの四半世紀を恙無く生きたいと思えます。



年に数回、認知症予防とストレス解消のため、くわな将棋大会に参加します。ある時女の子を連れられた若い男性から、突然「平野先生？」と声をかけられました。

た。聞けば彼は、平成四年津島高校二年時のクラス担任が私で、卒業後は地元国立大学へ進学、今は県立高校の数学教師として働いている。とのこと。私は驚きと喜びを隠せませんでした。彼のお嬢さんとの将棋に負けたのはもちろんのことです。

コロナ・ウクライナなど先行不透明な時代です。どうぞ卒業生諸君！「時間と命」を大切に、ご壮健にてお過ごしください。

## 津島高校にいます

九組担任

難波 佳江 先生  
(旧姓 山田)



四十六回生の皆さん、お元気ですか。私は津島高校で新任から

七年、他校二校を経験し、戻ってきて十三年、計二十年お世話になっています。そんな今、初めて担任として送り出した皆さんが卒業後三十年（幹事学年）となる巡り合わせを感慨深く感じています。

思い返せば、新任時代、何をどうすればいいかわからず、ご迷惑をおかけしていた私が、教員生活を続けてこられたのは、皆さんとの出会いがあったからだとしみじみ思います。体操部とともに汗を流し、図書部で冊子を作り、三稜祭や球技大会等の準備や運営に、生徒会をはじめとする皆さんと一緒に駆け回ったこと。授業でどんな発言が出たのか、ドキドキしながらも楽しかったこと。懐かしく思い出します。落ち込むことも多かつ

## 同窓生の叙勲報告

瑞宝双光章  
教育功勞  
恒川 武久 様  
(高18回)

郵政事業功勞  
森 英之 様  
(高18回)

おめでとございます。

(他に受賞の方をご存じでしたら、学校事務局までお知らせください。)

## ▼令和5年 大学合格者状況

	大学名	R5	大学名	R5	大学名	R5
国立	北海道大	1	早稲田大	1	名学院大	31
	室蘭工業大	1	青山学院大	1(1)	名商大	14
	山形大	2	専修大	1	名女大	17
	横浜国立大	1	津田塾大	3	名学芸大	6
	山梨大	3	駒澤大	1	名文理大	3
	富山大	2	上智大	1	名芸大	5
	福井大	5	日本大	2	名造形大	2
	信州大	1	明治大	1	南山大	87(2)
	静岡大	7(2)	中央大	1	日福大	10
	岐阜大	7	東海大	1	人間環境大	4
	名古屋大	4(1)	神奈川大	6	日赤豊田大	1
	愛知教育大	7	岐阜聖徳学園大	36	一宮研伸大	9
	名古屋工業大	5(1)	岐阜医療科大	13	藤田医科大	6
	三重大	18(1)	朝日大	1	名城大	156(9)
	滋賀大	1	愛知大	237	鈴鹿医療大	5
	京都工芸繊維大	1	愛知医科大	1	四日市看護	6
	大阪教育大	1	愛知工業大	73(3)	四日市大	4
	奈良女子大	1(1)	愛知淑徳大	142	京都産大	12
	広島大	1(1)	愛知学院大	71	大谷大	1
鳥取大	1	愛知学泉大	1	同志社大	8(2)	
秋田県立大	1	愛知工科大	1	立命館大	21(2)	
高崎経済大	1	愛知東邦大	1	龍谷大	3	
富山県立大	5	桜花学園大	5	関西大	5(1)	
福井県立大	3	金城学院大	36	関西学院大	2	
諏訪東京理科大	1	修文大	6	近畿大	10	
静岡文化芸術大	1	相山女学園大	49	その他	32(2)	
岐阜薬科大	1(1)	大同大	28	私立大計	1326(22)	
愛知県立大	6(1)	中京大	37	名古屋短	4(1)	
愛知県立芸術大	1	中部大	98	名女大短	4	
名古屋市大	2	東海学園大	7	愛知大短	1	
滋賀県立大	1	豊田工業大	3	その他	3	
岡山県立大	1	名音大	1	短大計	12(1)	
高知工科大	1					
国立大計	95(8)					

## ▼最近4年間卒業生動向

		令和5年	令和4年	令和3年	平成2年
卒業 者数	女	348	169	352	176
	男	179	174	176	186
大学 進学	女	315	149	315	153
	男	166	166	162	168
短大 進学	女	5	5	10	8
	男	0	0	2	1
専・種 各学 学校	女	10	9	10	7
	男	1	1	0	2
文科省 管外 大学校	女	1	0	1	0
	男	1	0	1	0
浪人	女	17	6	15	4
	男	11	11	11	15
就職	女	0	0	1	1
	男	0	1	0	0
その他	女	0	0	0	1
	男	0	0	0	0

### ホームページのご案内

三稜会では、創立110周年記念事業の一環として、諸先輩のご尽力をいただきながらホームページを立ち上げました。多くの卒業生の方々のお陰で、様々な情報を発信することができるようになりました。

ますます情報化が進み、浸透して行く今日、当会においても情報の発信をより広く、スピーディーに行うために、ホームページを積極的に利用活用したいと考えております、その一環として、まずはリニューアルを行いました。

今後、皆様からのアイデアをいただきながら、新しい時代にマッチした変化を目指していきたいと考えております。何卒、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

<http://www.sanryokai.com>

卒業生の活動、活躍などお知らせください。  
またご意見などいただければ幸いです。

[info@sanryokai.com](mailto:info@sanryokai.com)

ホームページ担当 北角浩一 (32回生)

### 《全日制課程》



男子バレーボール部が第77回愛知県総合体育大会において健闘躍進し、県大会ベスト8に入りました。

また、陸上競技部の3年大島璃胡(おおしまりこ)さんが、同じく県総合体育大会陸上競技の競歩で県5位となり、さらに6月中旬に静岡県袋井市で開催された東海大会でも5位となり、8月に札幌で開催されるインターハイへの出場が決まりました。

水泳部においても3年土井寛介くんが50m自由形で浜松で開催される東海大会出場が決まりました。



### 部活動の記録

#### 《定時制課程》

6月上旬に開催された第74回愛知県高等学校定時制通信制総合体育大会に於いて、陸上競技部のババエイジくんが円盤投げ県2位、同じく陸上競技部の木村翔吾くんが円盤投げ県3位になり、8月に駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われる定時制通信制課程の全国大会に出場



します。また、剣道競技で竹岡優吾くんが県2位になり、8月に東京の武道館で行われる定時制通信制課程の全国大会に出場します。



### 学年寄贈品 —お知らせとお礼—

昨年度幹事学年45回生の皆様より、本校正面玄関に国際交流関連の盾やトロフィー等を展示するためのショーケースを寄贈して頂きました。大切に使用させていただきます。有難うございました。